



# 縄文

THE  
TREES OF  
JOMON  
の

森  
だより

2020年  
第9号

水子貝塚公園・水子貝塚資料館ニュース

2020年12月発行

編集・発行：水子貝塚資料館

☎ 049-251-9686

水子貝塚資料館

検索

資料館 HP

QRコード



〒354-0011 埼玉県富士見市大字水子 2003-1

FAX 049-255-5596

## あつまれ！未来の考古学者 第8回ふじみジュニア考古学クラブ開催

令和2年10月25日(日)から、第8回ふじみジュニア考古学クラブを開催しました。今年は全5回の日程で、小学4～6年生9名が参加しました。

### 10月25日 第1回 考古学入門

大正大学文学部教授の御堂島正(みどうしまだし)先生を講師にお迎えし、縄文時代の石器について、黒曜石を使った石器づくり実演もまじえた講義をしていただきました。



### 10月31日 第2回 遺跡のある場所を探してみよう

水子貝塚周辺の水谷地区の遺跡や文化財を歩いてめぐるフィールドワークを行いました。八幡神社では表面採集に挑戦し、土器片をたくさんひろいました。



### 11月14日 第3回 発掘資料を研究してみよう

富士見市内で発掘されたあとの土器や石器の整理作業を体験しました。土器を洗う作業は、壊さないようにとても慎重に行っていました。土器の模様を写し取る拓本は、興味津津に取り組んでいました。午後には、実物の縄文土器の観察とスケッチを行い、まじめな表情で土器と向かい合っていました。



### 11月28日 第4回 遺跡の発掘調査をしてみよう

生涯学習課の協力により、現在調査中の正網遺跡で発掘を体験しました。次々に出土する約3千年の眠りから覚めた縄文土器を手にし、目を輝かせていました。



ふじみジュニア考古学クラブをはじめたきっかけは、平成24年にはじまった「子ども大学☆ふじみ」で、富士見市の歴史に関する講義をおこなったことでした。歴史好きの小学生も多くいることを知り、そうした子どもたちのために考古学を専門的に学ぶ講座を開催し、考古学の楽しさやおもしろさを伝え、もっともっと歴史好きになってもらいたい、あわよくば将来考古学者を目指す子が現れてほしい、との願いがありました。さっそく翌年の秋から開講し、全8講義で参加者は11名でした。

今年の7月19日のことでした。展示室の前を横切ると、二人の女子学生が熱心に資料を見ていました。そのうちの一人が私に「和田さん！」と声をかけてきました。続いて「ジュ

ニア考古学クラブに参加していた〇〇です。おぼえていますか？」とたずねられました。すっかり大人になりマスクもしていたため、最初はよくわかりませんでした。目元に面影がありすぐに思い出しました。はじめて開催した年に参加していた当時6年生の子で、その頃から考古学好きで人一倍熱心でした。そして、「私、今年の4月に〇〇大学の考古学専攻に入学したんです。今日は大学のレポートのために見学にきました。和田さんいるかなと思っていました」と。それを聞いて、なんだか目がうるうるしてきてしまい、まともに顔を見ることも、会話することもあまりできませんでした。コロナ禍で緊張が続く日々の中で、とてもうれしい出来事でした。

館長 和田 晋治



# 資料館イベント情報

## 展示室フ千百科 Vol. 2 はけうえ ハケ上遺跡

ハケ上遺跡は、関沢1丁目から2丁目にかけての武蔵野台地縁辺に沿って南北方向に細長く立地する遺跡で、そのほぼ中央を東武東上線の線路が走っています。かつて、この線路下には遺跡名の由来である湧き水（ハケ）が存在していました。ハケ上遺跡は、現在までに24カ所の発掘調査が行われており、旧石器時代の石器集中、縄文時代草創期の遺物集中、前期・中期の竪穴住居跡が確認されています。その中でも今回は、縄文時代草創期の資料について紹介していきます。

縄文時代草創期とは、現在より約1万6千年から約1万2千年前のことで、縄文時代の中でも最も古い時期にあたります。寒冷な気候から徐々に気温が上昇していく中で、人々は狩猟や採集を生業として生活していました。ハケ上遺跡では第2・5・9地点から草創期の資料が出土しています。中でも第2地点は、昭和48年(1973)に約420㎡の発掘調査を行



隆線文土器

い、その結果、隆線文土器とそれに伴う有茎尖頭器<sup>ゆうけいせんとうき</sup>、大型石鏃、スクレイパーや剥片類がまとまって出土しました。

隆線文土器とは、日本最古の土器型式の一つで、口縁部や胴部に細い粘土紐を貼り付け、文様を表現していることが特徴です。出土例は全国でも少なく、埼玉県でも数遺跡でしか発見されていないため、貴重な資料であるといえます。

有茎尖頭器は、石器の基部（矢と接する部分）に茎<sup>なかご</sup>がある槍の穂先のことで、石鏃は弓矢の先端に付ける矢じりのことです。どちらも狩猟に用いられた石器ですが、ハケ上遺跡から出土したものには、使用された痕跡のあるものが一つも見つかりませんでした。また、石鏃の未成品（製作途中のものごと）がいくつも見つまっていることや、剥片・破片が大量に出土していることから、本遺跡は石器の製作遺跡であると考えられています。

(水子貝塚資料館 齊藤 麻那)



有茎尖頭器・大型石鏃  
スクレイパー

### 水子貝塚 トピックス ③

～水子貝塚を掘って～

「えっ！貝塚を掘ってから30年も経つのに、信じられない！」当時私もまだ40代でした。発掘作業員として総勢47人ものが暑さ寒さに耐えて頑張って掘ってたんですね。もうお亡くなりになった人、名前も覚えていない人もいます。もう大昔の話ですね。でも、とても良い思い出になっています。

毎日たくさんの貝などの発見に、「出た！サメの歯！」「すごいぞ！カニのハサミ！」などの声。そして貝じゃない変な白い物が…現場監督のHさんに見てもらおうと顔が一変して、「動くな、触るな！」となり、やや暫くHさんが一人で観察すると、「これは人骨だ！」ということで、なんと6千年前の人骨でした！それからはあちこちから色々な先生が来て、その度に早坂さんが対応するので作業がストップ。作業は遅れるけど指示に従わないと叱られるので隠れてしまった事もありました…。

忘れてしまってる事が多いですが、今でも一部の貝の選別には自信を持っています。もう2年も3年もかけて同じ所を掘るなんて現場は無いですね。でもこれからも発掘はすーっと続けていきたいと思ってますし、そう思えるのは水子貝塚を掘ったからです。そして水子貝塚が大好きです。

(市民学芸員 井上 麻美子)

※このコラムは市民学芸員が執筆しています。

### 本格的な土器づくりに挑戦！

素地から作る、本格的な「土器づくり教室」を開催しました。

世界で一つだけの自分だけの土器づくりに挑戦です。土器づくり教室は全4回の工程で行われます。粘土こねから始まり、



土器の成形、土器のみがきを行い、段階ごとに丁寧にじっくり作り上げていきます。特に大変なのが粘土こねと土器の成形で、皆さんも悪戦苦闘していました。

最後は、野焼きで豪快に焼成して完成です。

### 体験！いつでもセブン

毎週土曜・日曜・祝日は体験いつでもセブン

受付時間【午前の部】10:00～11:30

【午後の部】13:00～14:30

- ①まがたま ②貝の腕輪 ③じゅず玉の腕輪
- ④ブンブンごま ⑤古代の鏡 ⑥火おこし体験
- ⑦どんぐりクラフト

材料費 ①200～250円 ②⑦100円  
③④⑥：無料 ⑤800円

